

2020 年度（令和 2 年度）

シラバス

スポーツ学科

バスケットボールコース

履正社医療スポーツ専門学校

2020（令和2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担 当 教 員 名	松永 麻由			
科 目 名	ビジネス実務マナー	実務経験				
実務内容						
単 位 数	2 単位		2 単位			
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画		後 期 授 業 計 画			
1			ビジネス文書① ビジネス文書について			
2			ビジネス文書② 送付状の書き方			
3			社交マナー① 冠婚葬祭・慶事			
4			社交マナー② 弔事・お見舞い			
5			お客様ご意見対応 クレームとは（コンプレインとの違い） 謝罪の仕方			
6			ビジネスマナー 席次、紹介の仕方			
7			ビジネスマナーのロールプレイング① グループで役割分担、A社／B社で実践			
8			ビジネスマナーのロールプレイング② グループで役割分担、A社／B社で実践			
9			プレゼンテーション① 説明の仕方 シナリオ構築			
10			プレゼンテーション② 発表の仕方（立ち居振る舞い、表情、話し方）			
11			話の聞き方 （面接時、集団面接、コミュニケーション面接）			
12			サービス接客検定 模擬試験 ビジネス実務マナー検定 模擬試験 問題を通して、ビジネス現場で知っておくべきことを学ぶ			
13			テスト前総復習			
14			後期試験実施			
15			フィードバック			
授 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・「学生」から「社会人・組織人」への意識改革からの行動変容 ・社会人常識を身に付けるとともに、就面接対策を意識しての授業を実施。 ・マナーについて理解し、社会人としての基礎的な立ち居振る舞い、言動について実践できるようになる。 ・社会に出ることへの楽しさを実感する。 					
成 績 評 価 方 法 (○印)	○	学期末試験	○	小テスト	○	授業態度
	○	出席率	○	実技	○	提出物
教 科 書	SIQ 医療スポーツ業界のサービス接客＆ビジネスマナー 2020年度版					
参 考 書	-					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 15 回

2020（令和2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担 当 教 員 名	浅村・西田・三枝			
科 目 名	バスケットボール実技Ⅳ	実務経験				
実務内容						
単 位 数	8 単位					
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画		後 期 授 業 計 画			
1	Team philosophyの導入 IV-1		体力測定 IV-1			
2	Team philosophyの導入 IV-2		体力測定 IV-2			
3	Cutting/Meat/Drive/Finish IV ～ボールのもらい方～抜き方～フィニッシュ～		DEF footwork/Closeout/Jump to the ball IV ～手の使い方、足の使い方、バランス、ビジョン～			
4	Pass/Catch/Pass variation IV ～キャッチ～ボールの動かし方～パスの出し方～		X-change/Lotation IV ～受け渡しのコミュニケーション～			
5	On ball pick 2on2 IV-1 ～スクリーンの掛け方～		On ball/Off ball Screenの対応 分解 IV			
6	On ball pick 2on2 IV-2 ～スクリーンの使い方～		On ball/Off ball Screenの対応 実践 IV			
7	2on2/3on3/4on4 IV ～ハーフコートでスペースを攻める～		Rebound boxout/DEF contact IV			
8	Free Brake/Reb～Brake/Restart～Brake IV		Hesitation IV ～DEFのかけひき～			
9	Early OFF IV ～アウトナンバーの攻め方～		Early DEF IV ～アウトナンバーの守り方～			
10	System OFF IV-1 ～DEFの対応とスペースを見て攻める～		Zone pless IV			
11	System OFF IV-2 ～終わり方の共通理解、OFF Rebへの入り方～		Zone DEF IV			
12	Zone attack IV ～Zone DEFの崩し方～		5on5 IV-1 ～片道、1往復～			
13	Pless down IV ～Zone Plessの崩し方～		5on5 IV-2 ～Situation game (Behind start) ～			
14	Baseline/Sideline inbounds play IV		5on5 IV-3 ～Situation game (Lead start) ～			
15	Special play IV		5on5 IV-4 ～10min game～			
授 業 概 要	<p>バスケットボールの実技を基礎から応用まで実践的に行う。 基本的なオフェンススキルの習得を目指す。1対1で目の前のディフェンスを破るスキルだけでなく、練習中から試合を想定し、裏のスペース、カバーのディフェンスと勝負を挑む。 また、個人ディフェンススキルの習得を目指す。チームとして守るために大切な予測とコミュニケーション力を身に付ける。 そして、チームの約束事やルールを理解し、実践していく。</p>					
成 績 評 価 方 法 (○印)		学期末試験		小テスト	○	授業態度
	○	出席率	○	実技	○	提出物
教 科 書	-					
参 考 書	-					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 60 回

2020（令和2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担 当 教 員 名	松永 麻由			
科 目 名	サービス接遇マナー	実務経験				
実務内容						
単 位 数	2 単位		2 単位			
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画		後 期 授 業 計 画			
1	オリエンテーション（授業要項・専門学生意識付け） この授業の主旨説明 目標 自己紹介の仕方 グループでの紹介					
2	社会人と学生委の違い 働くとは？・挨拶と返事の徹底					
3	コミュニケーションの理解・第一印象の重要性 社会人にとって大切であることの理解					
4	身だしなみ3要素 表情はコミュニケーションで重要であることの理解					
5	大人としての態度、動作、姿勢、立ち居振る舞い① 面接時の入室～座る～挨拶～退室の動作					
6	大人としての態度・動作② 名刺交換（名刺とは、受ける、渡す、交換） 名刺の取り扱い方					
7	バーバル（言語的表現） 敬語の確認① 必要性の理解、基本敬語練習問題					
8	敬語の確認② 接遇用語、その応用					
9	電話対応① 言葉遣いの確認、発声練習、口の開き方 電話対応の心得					
10	電話対応② 電話を受ける（アルバイト先、実習先からの電話想定）					
11	電話対応③ 電話をかける（面接日程の確認）					
12	接遇対応（スポーツ店での接客対応） グループで役割を決めて練習、他者評価 予約電話対応～来店～おすすめする～購入金銭の授受～お見送り					
13	接遇対応（ホテルのアスレティックルームの接客対応） グループで役割を決めて練習、他者評価					
14	前期試験実施					
15	フィードバック					
授 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・「学生」から「社会人・組織人」への意識改革からの行動変容 ・社会人常識を身に付けるとともに、就面接対策を意識しての授業を実施。 ・マナーについて理解し、社会人としての基礎的な立ち居振る舞い、言動について実践できるようになる。 ・社会に出ることへの楽しさを実感する。 					
成 績 評 価 方 法 (○印)	○	学期末試験	○	小テスト	○	授業態度
	○	出席率	○	実技	○	提出物
教 科 書	SIQ 医療スポーツ業界のサービス接遇&ビジネスマナー 2020年度版					
参 考 書	-					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 15 回

2020（令和2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担 当 教 員 名	浅村・西田・三枝			
科 目 名	キャリアプランニング	実務経験				
実務内容						
単 位 数	単 位		2 単位			
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画		後 期 授 業 計 画			
1			ガイダンス			
2			キャリア概論 1			
3			キャリア概論 2			
4			キャリア概論 3			
5			自己紹介			
6			グループワーク 1			
7			外部講師講演 1			
8			グループワーク 2			
9			外部講師講演 2			
10			グループワーク 3			
11			外部講師講演 3			
12			グループワーク 4			
13			グループ発表			
14			発表準備			
15			まとめ・レポート提出			
授 業 概 要	社会の第一線で活躍している方々の体験談、キャリア形成についての講義、グループワークを通じて、学校生活で学ばべきことと社会で働く意義や関連性を考え、今後の自らのキャリアを考えるきっかけとすることが出来る。					
成 績 評 価 方 法 (○印)		学期末試験	○	小テスト	○	授業態度
	○	出席率	○	グループワーク・発表	○	提出物
教 科 書	-					
参 考 書	-					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 15 回

2020（令和2）年度

講義計画

配当学年	バスケットボールコース 1年生	担当教員名	藤元 大誌			
科目名	トレーニング実技Ⅰ,トレーニング実技Ⅱ	実務経験				
実務内容						
単位数	2単位		2単位			
授業時数	前期 授業計画		後期 授業計画			
1	ガイダンス	ガイダンス及びMax測定（BP/SQ/C）				
2	筋力トレーニングの基礎知識とプログラム作成	体力測定（スプリント/プロアジリティ/レーンアジリティ）				
3	筋力トレーニングの実際	体幹トレーニングの実際 3				
4	Max測定（BP/SQ/C）	体幹トレーニングの実際 4				
5	体力測定（スプリント/プロアジリティ/レーンアジリティ）	ウエイトトレーニングの実際（背部 2）				
6	体幹トレーニングの実際	ウエイトトレーニングの実際（肩部 2）				
7	ウエイトトレーニングの実際（上肢・胸部）	ウエイトトレーニングの実際（胸部 3）				
8	ウエイトトレーニングの実際（下肢・臀部）	ウエイトトレーニングの実際（脚部 3）				
9	ウエイトトレーニングの実際（背部・肩部）	ウエイトトレーニングの実際（背部 3）				
10	ウエイトトレーニングの実際（上肢 2・胸部 2）	ウエイトトレーニングの実際（肩部 3）				
11	ウエイトトレーニングの実際（下肢 2・臀部 2）	Max測定（BP/SQ/C）				
12	ウエイトトレーニングの実際（背部 2・肩部 2）	体力測定（スプリント/プロアジリティ/レーンアジリティ）				
13	プライオメトリクストレーニング	コンディショニングの実際				
14	前期まとめ・テスト前学習	テスト前学習				
15	テスト	テスト				
授業概要	ウエイトトレーニングに対する正しい知識・基本的なフォームを理解し、実行する。 バスケットボールの競技力を向上させるためのトレーニングプログラムの組み方を知る。					
成績 評価方法 (○印)		学期末試験		小テスト	○	出席率
	○	実技（実習）		提出物（レポート）	○	授業態度
教科書	-					
参考書	-					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 15 回

2020（令和 2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担 当 教 員 名	北山 修子			
科 目 名	トレーニング実技Ⅰ,トレーニング実技Ⅱ	実務経験				
実務内容						
単 位 数	2 単位		2 単位			
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画		後 期 授 業 計 画			
1	トレーニングの基礎・基本	前期の復習				
2	トレーニングの基礎・基本	競技特性の高いトレーニング				
3	下半身種目の追い込み	競技特性の高いトレーニング				
4	上半身種目の追い込み	競技特性の高いトレーニング				
5	全身運動（サーキットトレーニング）	競技特性の高いトレーニング				
6	全身運動（サーキットトレーニング）	競技特性の高いトレーニング				
7	身体の使い方	筋肥大トレーニング				
8	身体の使い方	筋肥大トレーニング				
9	身体の使い方	筋肥大トレーニング				
10	競技特性の高いトレーニング	筋肥大トレーニング				
11	競技特性の高いトレーニング	筋肥大トレーニング				
12	競技特性の高いトレーニング	筋肥大トレーニング				
13	競技特性の高いトレーニング	筋肥大トレーニング				
14	競技特性の高いトレーニング	筋肥大トレーニング				
15	競技特性の高いトレーニング	筋肥大トレーニング				
授 業 概 要	バスケットボールに必要な筋肉の鍛え方を知る。 トレーニングで身体の使い方を知る。					
成 績 評 価 方 法 (○印)		学期末試験		小テスト	○	出席率
		実技（実習）		提出物（レポート）	○	授業態度
教 科 書	-					
参 考 書	-					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 15 回

2020（令和 2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担 当 教 員 名	湯浅 剛			
科 目 名	ルール・レフリング	実務経験				
実務内容						
単 位 数	2 単位		単 位			
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画		後 期 授 業 計 画			
1	審判への関心「トップ・レフェリーの1日」					
2	最近の日本バスケットボール界の変遷					
3	新ルールについて（JBA 20190401）					
4	バスケットボールの歴史とルールの変遷					
5	インテグリティについて					
6	テーブル・オフィシャルズの役割					
7	JBAプレーコーリング・ガイドライン（20190801）①					
8	JBAプレーコーリング・ガイドライン（20190801）②					
9	JBAプレーコーリング・ガイドライン（20190801）③					
10	審判法・メカニクス・プレゼンテーション（分解練習）①					
11	審判法・メカニクス・プレゼンテーション（分解練習）②					
12	審判法・メカニクス・プレゼンテーション（分解練習）③					
13	審判法・実技（実際のゲームを使って）①					
14	審判法・実技（実際のゲームを使って）②					
15	審判法・実技（実際のゲームを使って）③					
授 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルールに対する正しい知識やレフェリングの基本を学び、バスケットボール技術の理解や審判法の習得に繋げる。 ・ JBA元S級レフェリーとしての経験や、JBA元T級インストラクターとしての経験を通じて、学生に対してリアル・タイムで現在のバスケットボールに関わる情報を発信する。 ・ コース長とも連携を図りながら、柔軟性を持ってタイムリーに授業を展開する。 					
成 績 評 価 方 法 (○印)		学期末試験	○	小テスト	○	授業態度
	○	出席率	○	実技	○	提出物
教 科 書	ホイッスル（全員） 教科書はなし					
参 考 書	バスケットボール競技規則書、オフィシャルズ・マニュアル（希望者）					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 15 回

2020（令和2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担 当 教 員 名	浅村・西田・三枝			
科 目 名	バスケットボール実技 I	実務経験				
実務内容						
単 位 数	8 単位					
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画		後 期 授 業 計 画			
1	Team philosophyの導入 I-1		体力測定 I-1			
2	Team philosophyの導入 I-2		体力測定 I-2			
3	Cutting/Meat/Drive/Finish I ～ボールのもらい方～抜き方～フィニッシュ～		DEF footwork/Closeout/Jump to the ball I ～手の使い方、足の使い方、バランス、ビジョン～			
4	Pass/Catch/Pass variation I ～キャッチ～ボールの動かし方～パスの出し方～		X-change/Lotation I ～受け渡しのコミュニケーション～			
5	On ball pick 2on2 I-1 ～スクリーンの掛け方～		On ball/Off ball Screenの対応 分解 I			
6	On ball pick 2on2 I-2 ～スクリーンの使い方～		On ball/Off ball Screenの対応 実践 I			
7	2on2/3on3/4on4 I ～ハーフコートでスペースを攻める～		Rebound boxout/DEF contact I			
8	Free Brake/Reb～Brake/Restart～Brake I		Hesitation I ～DEFのかけひき～			
9	Early OFF I ～アウトナンバーの攻め方～		Early DEF I ～アウトナンバーの守り方～			
10	System OFF I-1 ～DEFの対応とスペースを見て攻める～		Zone pless I			
11	System OFF I-2 ～終わり方の共通理解、OFF Rebへの入り方～		Zone DEF I			
12	Zone attack I ～Zone DEFの崩し方～		5on5 I-1 ～片道、1往復～			
13	Pless down I ～Zone Plessの崩し方～		5on5 I-2 ～Situation game (Behind start) ～			
14	Baseline/Sideline inbounds play I		5on5 I-3 ～Situation game (Lead start) ～			
15	Special play I		5on5 I-4 ～10min game～			
授 業 概 要	バスケットボールの実技を基礎から応用まで実践的に行う。 基本的なオフェンススキルの習得を目指す。1対1で目の前のディフェンスを破るスキルだけでなく、練習中から試合を想定し、裏のスペース、カバーのディフェンスと勝負を挑む。 また、個人ディフェンススキルの習得を目指す。チームとして守るために大切な予測とコミュニケーション力を身に付ける。 そして、チームの約束事やルールを理解し、実践していく。					
成 績 評 価 方 法 (○印)		学期末試験		小テスト	○	授業態度
	○	出席率	○	実技	○	提出物
教 科 書	-					
参 考 書	-					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 60 回

2020（令和2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担 当 教 員 名	浅村・西田・三枝			
科 目 名	バスケットボール実技Ⅱ	実務経験				
実務内容						
単 位 数	8 単位					
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画		後 期 授 業 計 画			
1	Team philosophyの導入 Ⅱ-1		体力測定 Ⅱ-1			
2	Team philosophyの導入 Ⅱ-2		体力測定 Ⅱ-2			
3	Cutting/Meat/Drive/Finish Ⅱ ～ボールのもらい方～抜き方～フィニッシュ～		DEF footwork/Closeout/Jump to the ball Ⅱ ～手の使い方、足の使い方、バランス、ビジョン～			
4	Pass/Catch/Pass variation Ⅱ ～キャッチ～ボールの動かし方～パスの出し方～		X-change/Lotation Ⅱ ～受け渡しのコミュニケーション～			
5	On ball pick 2on2 Ⅱ-1 ～スクリーンの掛け方～		On ball/Off ball Screenの対応 分解 Ⅱ			
6	On ball pick 2on2 Ⅱ-2 ～スクリーンの使い方～		On ball/Off ball Screenの対応 実践 Ⅱ			
7	2on2/3on3/4on4 Ⅱ ～ハーフコートでスペースを攻める～		Rebound boxout/DEF contact Ⅱ			
8	Free Brake/Reb~Brake/Restart~Brake Ⅱ		Hesitation Ⅱ ～DEFのかけひき～			
9	Early OFF Ⅱ ～アウトナンバーの攻め方～		Early DEF Ⅱ ～アウトナンバーの守り方～			
10	System OFF Ⅱ-1 ～DEFの対応とスペースを見て攻める～		Zone pless Ⅱ			
11	System OFF Ⅱ-2 ～終わり方の共通理解、OFF Rebへの入り方～		Zone DEF Ⅱ			
12	Zone attack Ⅱ ～Zone DEFの崩し方～		5on5 Ⅱ-1 ～片道、1往復～			
13	Pless down Ⅱ ～Zone Plessの崩し方～		5on5 Ⅱ-2 ～Situation game (Behind start) ～			
14	Baseline/Sideline inbounds play Ⅱ		5on5 Ⅱ-3 ～Situation game (Lead start) ～			
15	Special play Ⅱ		5on5 Ⅱ-4 ～10min game～			
授 業 概 要	バスケットボールの実技を基礎から応用まで実践的に行う。 基本的なオフェンススキルの習得を目指す。1対1で目の前のディフェンスを破るスキルだけでなく、練習中から試合を想定し、裏のスペース、カバールのディフェンスと勝負を挑む。 また、個人ディフェンススキルの習得を目指す。チームとして守るために大切な予測とコミュニケーション力を身に付ける。 そして、チームの約束事やルールを理解し、実践していく。					
成 績 評 価 方 法 (○印)		学期末試験		小テスト	○	授業態度
	○	出席率	○	実技	○	提出物
教 科 書	-					
参 考 書	-					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 60 回

2020（令和2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担 当 教 員 名	浅村・西田・三枝			
科 目 名	バスケットボール実技Ⅲ	実務経験				
実務内容						
単 位 数	8 単位					
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画		後 期 授 業 計 画			
1	Team philosophyの導入 Ⅲ-1		体力測定 Ⅲ-1			
2	Team philosophyの導入 Ⅲ-2		体力測定 Ⅲ-2			
3	Cutting/Meat/Drive/Finish Ⅲ ～ボールのもらい方～抜き方～フィニッシュ～		DEF footwork/Closeout/Jump to the ball Ⅲ ～手の使い方、足の使い方、バランス、ビジョン～			
4	Pass/Catch/Pass variation Ⅲ ～キャッチ～ボールの動かし方～パスの出し方～		X-change/Lotation Ⅲ ～受け渡しのコミュニケーション～			
5	On ball pick 2on2 Ⅲ-1 ～スクリーンの掛け方～		On ball/Off ball Screenの対応 分解 Ⅲ			
6	On ball pick 2on2 Ⅲ-2 ～スクリーンの使い方～		On ball/Off ball Screenの対応 実践 Ⅲ			
7	2on2/3on3/4on4 Ⅲ ～ハーフコートでスペースを攻める～		Rebound boxout/DEF contact Ⅲ			
8	Free Brake/Reb～Brake/Restart～Brake Ⅲ		Hesitation Ⅲ ～DEFのかけひき～			
9	Early OFF Ⅲ ～アウトナンバーの攻め方～		Early DEF Ⅲ ～アウトナンバーの守り方～			
10	System OFF Ⅲ-1 ～DEFの対応とスペースを見て攻める～		Zone pless Ⅲ			
11	System OFF Ⅲ-2 ～終わり方の共通理解、OFF Rebへの入り方～		Zone DEF Ⅲ			
12	Zone attack Ⅲ ～Zone DEFの崩し方～		5on5 Ⅲ-1 ～片道、1往復～			
13	Pless down Ⅲ ～Zone Plessの崩し方～		5on5 Ⅲ-2 ～Situation game (Behind start) ～			
14	Baseline/Sideline inbounds play Ⅲ		5on5 Ⅲ-3 ～Situation game (Lead start) ～			
15	Special play Ⅲ		5on5 Ⅲ-4 ～10min game～			
授 業 概 要	バスケットボールの実技を基礎から応用まで実践的に行う。 基本的なオフェンススキルの習得を目指す。1対1で目の前のディフェンスを破るスキルだけでなく、練習中から試合を想定し、裏のスペース、カバーのディフェンスと勝負を挑む。 また、個人ディフェンススキルの習得を目指す。チームとして守るために大切な予測とコミュニケーション力を身に付ける。 そして、チームの約束事やルールを理解し、実践していく。					
成 績 評 価 方 法 (○印)		学期末試験		小テスト	○	授業態度
	○	出席率	○	実技	○	提出物
教 科 書	-					
参 考 書	-					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 60 回

2020（令和2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担 当 教 員 名	浅村・西田・三枝			
科 目 名	バスケットボール実技 V	実務経験				
実務内容						
単 位 数	8 単位					
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画		後 期 授 業 計 画			
1	Team philosophyの導入 V-1		体力測定 V-1			
2	Team philosophyの導入 V-2		体力測定 V-2			
3	Cutting/Meat/Drive/Finish V ~ボールのもらい方~抜き方~フィニッシュ~		DEF footwork/Closeout/Jump to the ball V ~手の使い方、足の使い方、バランス、ビジョン~			
4	Pass/Catch/Pass variation V ~キャッチ~ボールの動かし方~パスの出し方~		X-change/Lotation V ~受け渡しのコミュニケーション~			
5	On ball pick 2on2 V-1 ~スクリーンの掛け方~		On ball/Off ball Screenの対応 分解 V			
6	On ball pick 2on2 V-2 ~スクリーンの使い方~		On ball/Off ball Screenの対応 実践 V			
7	2on2/3on3/4on4 V ~ハーフコートでスペースを攻める~		Rebound boxout/DEF contact V			
8	Free Brake/Reb~Brake/Restart~Brake V		Hesitation V ~DEFのかけひき~			
9	Early OFF V ~アウトナンバーの攻め方~		Early DEF V ~アウトナンバーの守り方~			
10	System OFF V-1 ~DEFの対応とスペースを見て攻める~		Zone pless V			
11	System OFF V-2 ~終わり方の共通理解、OFF Rebへの入り方~		Zone DEF V			
12	Zone attack V ~Zone DEFの崩し方~		5on5 V-1 ~片道、1往復~			
13	Pless down V ~Zone Plessの崩し方~		5on5 V-2 ~Situation game (Behind start) ~			
14	Baseline/Sideline inbounds play V		5on5 V-3 ~Situation game (Lead start) ~			
15	Special play V		5on5 V-4 ~10min game~			
授 業 概 要	バスケットボールの実技を基礎から応用まで実践的に行う。 基本的なオフェンススキルの習得を目指す。1対1で目の前のディフェンスを破るスキルだけでなく、練習中から試合を想定し、裏のスペース、カバーのディフェンスと勝負を挑む。 また、個人ディフェンススキルの習得を目指す。チームとして守るために大切な予測とコミュニケーション力を身に付ける。 そして、チームの約束事やルールを理解し、実践していく。					
成 績 評 価 方 法 (○印)		学期末試験		小テスト	○	授業態度
	○	出席率	○	実技	○	提出物
教 科 書	-					
参 考 書	-					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 60 回

2020（令和 2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担 当 教 員 名	奥田 千代			
科 目 名	エアロビクス I	実務経験	○			
実務内容	様々なエクササイズを体感させる授業					
単 位 数	2 単位		単位			
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画		後 期 授 業 計 画			
1	ガイダンス：実技の内容と授業の目的					
2	リズムどりと基本ステップの理解と習得					
3	エアロビクス体験（ローインパクト）、ストレッチ					
4	エアロビクス体験（ハイインパクトとローインパクトの違い）					
5	エアロビクスのコンビネーションの実践, シンメトリープログラム					
6	基本ステップと複雑な動きの組み合わせ 1					
7	基本ステップと複雑な動きの組み合わせ 2 コートを使って					
8	基本ステップと複雑な動きの組み合わせ 3 漸進的な強度変化					
9	基本ステップと複雑な動きの組み合わせ 4 カウントを意識したエクササイズの繰り返し					
10	エアロビクスダンスと高強度運動を組み合わせた サーキットトレーニング					
11	ダンスステップを使ってコート上での移動を利用した 有酸素運動と高強度運動の組み合わせの検討					
12	バスケットボールのウォームアップを考慮した エアロビクスエクササイズのプログラム構成 グループワーク					
13	バスケットボールのウォームアップを考慮した エアロビクスエクササイズのプログラム構成 グループワーク					
14	バスケットボールのウォームアップを考慮した エアロビクスエクササイズのプログラム構成					
15	課題発表（グループ）					
授 業 概 要	エアロビクスダンスやそのステップワークを使って、さまざま動きや動きに必要なリズムを理解する。円滑に動くことで、日ごろバスケット競技では使わない関節の動き、また使う関節の柔軟性を高めるための動きを身に付ける。構成されたコンビネーションを理解し、グループワークで動作を習得していく。					
成 績 評 価 方 法 (○印)		学期末試験		小テスト		授業態度
		出席率		実技		提出物
教 科 書	-					
参 考 書	-					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 15 回

2020（令和2）年度

講義計画

配当学年	バスケットボールコース 1年生	担当教員名	畠中 秀聡			
科目名	解剖学	実務経験				
実務内容						
単位数	2単位	単位				
授業時数	前期 授業計画		後期 授業計画			
1	ガイダンス (講師紹介、各自己紹介、授業の流れと評価等について)					
2	動きの機能解剖学					
3	肩甲帯、肩関節 ①					
4	肩甲帯、肩関節 ②					
5	肘関節					
6	手関節、手首関節					
7	テスト					
8	股関節					
9	膝関節					
10	下腿					
11	足関節					
12	足部					
13	腰部					
14	胸部、頸部					
15	テスト					
授業概要	<p>競技力の向上や指導をする上で、トレーニング効果や障害予防には必要不可欠であることを身体の基礎となる骨格・筋肉の名称と役割を理解させる。</p> <p>また、トレーナー活動でどのように必要な項目なのかを、現場での経験を交えて伝え、能動的な学びへと発展させていくことで、学ぶ習慣やセルフ指導力を高めることを目的とする。</p>					
成績 評価方法 (○印)	<input type="radio"/>	学期末試験	<input type="radio"/>	小テスト	<input type="radio"/>	授業態度
	<input type="radio"/>	出席率		実技	<input type="radio"/>	提出物
教科書	身体運動の機能解剖学（購入は各自判断に任せる）					
参考書	-					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 15 回

2020（令和2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担 当 教 員 名	酒井 美緒			
科 目 名	スポーツ栄養学 I	実務経験	○			
実務内容	プロの栄養管理の経験を生かした授業					
単 位 数	2 単位		単 位			
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画		後 期 授 業 計 画			
1	オリエンテーション					
2	エネルギー生産のために必要な栄養素					
3	五大栄養素の働き 【I-5-①】					
4	糖質1 【I-5-①】					
5	糖質2 【I-5-①】					
6	脂質1 【I-5-①】					
7	脂質2 【I-5-①】					
8	たんぱく質 【I-5-①】					
9	ビタミン1 【I-5-①】					
10	ビタミン2 【I-5-①】					
11	ミネラル 【I-5-①】					
12	エネルギー代謝 【Ⅲ-4-①】					
13	エネルギー消費量 【Ⅲ-4-①】					
14	エネルギー摂取量 【Ⅲ-4-①】					
15	試験					
授 業 概 要	スポーツ栄養学を理解するための基本的な知識を、実際に何を食べたらよいかという観点から学ぶ。					
成 績 評 価 方 法 (○印)	○	学期末試験	○	小テスト	○	授業態度
	○	出席率		実技	○	提出物
教 科 書	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目ⅠⅡⅢ（財団法人 日本体育協会）					
参 考 書	-					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 15 回

2020（令和 2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担 当 教 員 名	酒井 美緒			
科 目 名	スポーツ栄養学 I	実務経験	○			
実務内容	プロの栄養管理の経験を生かした授業					
単 位 数	2 単位		単 位			
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画		後 期 授 業 計 画			
1	オリエンテーション					
2	エネルギー生産のために必要な栄養素					
3	五大栄養素の働き 【I-5-①】					
4	糖質1 【I-5-①】					
5	糖質2 【I-5-①】					
6	脂質1 【I-5-①】					
7	脂質2 【I-5-①】					
8	たんぱく質 【I-5-①】					
9	ビタミン1 【I-5-①】					
10	ビタミン2 【I-5-①】					
11	ミネラル 【I-5-①】					
12	エネルギー代謝 【Ⅲ-4-①】					
13	エネルギー消費量 【Ⅲ-4-①】					
14	エネルギー摂取量 【Ⅲ-4-①】					
15	試験					
授 業 概 要	スポーツ栄養学を理解するための基本的な知識を、実際に何を食べたらよいかという観点から学ぶ。					
成 績 評 価 方 法 (○印)	○	学期末試験	○	小テスト	○	授業態度
	○	出席率		実技	○	提出物
教 科 書	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目 I II III (財団法人 日本体育協会)					
参 考 書	-					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 15 回

講義計画

配当学年	バスケットボールコース 1年生	担当教員名	齊藤 雅子			
科目名	スポーツ心理学Ⅰ・Ⅱ	実務経験				
実務内容						
単位数	2単位		2単位			
授業時数	前期 授業計画		後期 授業計画			
1	スポーツ心理学とは		メンタルマネジメントとは	【Ⅲ-6-①】		
2	スポーツと心に関わる諸問題 【Ⅱ-3-①】		メンタルトレーニングとその効果	【Ⅲ-6-①】		
3	スポーツにおける動機づけ（メカニズム） 【Ⅱ-3-②】		リラクゼーション	【Ⅲ-6-①】		
4	スポーツの技能の習得 【Ⅱ-3-③】		自己コントロール・目標設定技法	【Ⅲ-6-①】		
5	練習の心理 【Ⅱ-3-③】		実力発揮のためのイメージトレーニング	【Ⅲ-6-①】		
6	指導者による心理的サポート 【Ⅱ-3-③】		集中力を高める	【Ⅲ-6-①】		
7	技術指導における効果的指導法・個人差の考慮 【Ⅱ-3-③】		心理的コンディショニング（測定・評価）	【Ⅲ-6-①】		
8	日常生活における相談 【Ⅱ-3-③】		心理的コンディションとパフォーマンス	【Ⅲ-6-①】		
9	チーム指導の目標 【Ⅱ-3-③】		あがり、スランプの克服	【Ⅲ-6-①】		
10	指導者のリーダーシップ 【Ⅱ-3-③】		指導者のストレス、メンタルマネジメント	【Ⅲ-6-②】		
11	チームワークとは 【Ⅱ-3-③】		競技心理の諸問題	【Ⅲ-6-②】		
12	チームに関わる心理的問題 【Ⅱ-3-③】		心理テスト法	【Ⅲ-6-①】		
13	コーチングの評価 【Ⅱ-3-③】		競技生活の心理的サポート	【Ⅲ-6-①】		
14	まとめ・復習		まとめ・復習			
15	試験		試験			
授業概要	<p>「スポーツ心理学」は、スポーツ活動で生じる現象を対象とし、心理学的方法を用いて研究する学問として発展してきた。</p> <p>近年では、スポーツ選手の競技力向上のみならず、スポーツ現場における様々な問題や日常生活との関連などについても研究が進められている。</p> <p>本講義では、「スポーツ心理学」の理論と実践を紹介し、スポーツ選手や指導者など様々な視点からスポーツ場面で生じる現象を捉えることで、受講生が幅広い知見を習得し、実際のスポーツ現場で実践する力を身に付けることを目指す。</p>					
成績 評価方法 (○印)	○	学期末試験		小テスト	○	授業態度
	○	出席率		実技	○	提出物
教科書	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目ⅡⅢ（財団法人 日本スポーツ協会）					
参考書	スポーツメンタルトレーニング教本 改訂版（大修館書店） よくわかるスポーツ心理学（ミネルヴァ書房） これから学ぶスポーツ心理学 改訂版（大修館書店）					

2020（令和2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担当教員名	三枝 一輝			
科 目 名	スポーツ指導論 I	実務経験				
実務内容						
単 位 数	2 単位		単位			
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画		後 期 授 業 計 画			
1	スポーツ指導者とは 1 【I-2-①】					
2	スポーツ指導者とは 2 【I-2-①】					
3	スポーツ指導者の倫理 1 【I-2-②】					
4	スポーツ指導者の倫理 2 【I-2-②】					
5	指導者の心構え・視点 1 【I-2-③】					
6	指導者の心構え・視点 2 【I-2-③】					
7	世界の舞台を目指すアスリートの発掘・育成の重要性と 指導者の役割 1 【I-2-④】					
8	世界の舞台を目指すアスリートの発掘・育成の重要性と 指導者の役割 2 【I-2-④】					
9	指導計画の立て方 1 【I-6-①】					
10	指導計画の立て方 2 【I-6-①】					
11	指導計画の立て方 3 【I-6-①】					
12	スポーツ活動と安全管理 1 【I-6-②】					
13	スポーツ活動と安全管理 2 【I-6-②】					
14	スポーツ活動と安全管理 3 【I-6-②】					
15	試験					
授 業 概 要	<p>スポーツを通じて豊かな生活が営むことができる社会の実現のために「サポート・貢献」という認識をさせる。 授業では、必要なスポーツに関する基礎知識を総合的に学習し、理解したことを実践できるように意識付けさせる。 また、具体例や学生に必要な知識を学習することで将来的に公認スポーツ指導者を目指せるよう基礎知識を身につけさせる。</p>					
成 績 評 価 方 法 (○印)	<input type="radio"/>	学期末試験		小テスト		授業態度
	<input type="radio"/>	出席率		実技	<input type="radio"/>	提出物
教 科 書	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目 I II III (財団法人 日本スポーツ協会)					
参 考 書	スポーツ指導論 (メディカルフィットネス協会)					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 15 回

2020（令和2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担 当 教 員 名	松村 雄樹			
科 目 名	スポーツ経営学	実務経験				
実務内容						
単 位 数	2 単位		2 単位			
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画		後 期 授 業 計 画			
1			オリエンテーション 現代社会とスポーツ			
2			スポーツプロモーションとスポーツ基本計画 【Ⅱ-1-②】			
3			スポーツ立国戦略と予算			
4			スポーツ振興の方策と行政 【Ⅰ-8-①】			
5			非営利組織のマネジメント 【Ⅱ-4-②】			
6			総合型地域スポーツ、スポーツ少年団 【Ⅰ-8-②】【Ⅰ-8-③】			
7			スポーツの地域密着（プロスポーツの活動）			
8			スポーツの社会貢献			
9			スポーツ組織の財源確保 【Ⅱ-4-①】			
10			スポーツ組織のマーケティングとプロモーション 【Ⅱ-4-②】【Ⅱ-4-③】			
11			スポーツ参加者、観戦者増加マネジメント方策			
12			スポーツとブランディング 【Ⅱ-4-②】			
13			スポーツ施設のマネジメント 【Ⅱ-4-②】			
14			まとめ			
15			試験			
授 業 概 要	<p>■前期：現代社会におけるスポーツを取り巻く様々な出来事・環境・現象について、基本的な概念の解説を行う。授業のテーマに沿った新聞等のメディア等の最新の事例紹介を交えて、解説する。</p> <p>■後期：高齢化が進む現代社会において健康維持と健康増進に不可欠なスポーツの位置づけがどのような施策で行われようとしているのか、またそこに展開する提供事業の経営のあり方とマネジメントを現場の状況から多角的に考察、理解することを目指す。</p>					
成 績 評 価 方 法 (○印)	○	学期末試験		小テスト	○	授業態度
	○	出席率		実技		提出物
教 科 書	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目ⅠⅡⅢ（財団法人 日本スポーツ協会）					
参 考 書	-					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 15 回

2020（令和2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担当教員名	松村 雄樹			
科 目 名	スポーツ社会学	実務経験				
実務内容						
単 位 数	2 単位		2 単位			
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画		後 期 授 業 計 画			
1	スポーツの概念と歴史 【Ⅰ-1-①】					
2	現代スポーツの捉え方・考え方 【Ⅰ-1-①】					
3	スポーツ文化とは 【Ⅰ-1-②】					
4	スポーツマンシップとフェアプレイ 【Ⅰ-1-②】					
5	スポーツにおける倫理観 【Ⅱ-2-②】					
6	スポーツにおける基本的人権 【Ⅱ-2-②】					
7	スポーツにおける社会規範 【Ⅱ-2-②】					
8	現代社会におけるスポーツの位置づけ 【Ⅱ-1-①】					
9	地域社会とスポーツの関係 【Ⅱ-1-①】					
10	スポーツイベントと振興プログラム 【Ⅱ-1-①】					
11	障害者スポーツにおける現状と課題 【Ⅱ-5-③】					
12	障害者スポーツの環境と指導者育成 【Ⅱ-5-③】					
13	スポーツ実施の安全管理・危機管理 【Ⅱ-2-①】					
14	判例から見るスポーツ事故 【Ⅱ-2-①】					
15	試験					
授 業 概 要	<p>■前期：現代社会におけるスポーツを取り巻く様々な出来事・環境・現象について、基本的な概念の解説を行う。授業のテーマに沿った新聞等のメディア等の最新の事例紹介を交えて、解説する。</p> <p>■後期：高齢化が進む現代社会において健康維持と健康増進に不可欠なスポーツの位置づけがどのような施策で行われようとしているのか、またそこに展開する提供事業の経営のあり方とマネジメントを現場の状況から多角的に考察、理解することを目指す。</p>					
成 績 評 価 方 法 (○印)	○	学期末試験		小テスト	○	授業態度
	○	出席率		実技		提出物
教 科 書	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目ⅠⅡⅢ（財団法人 日本スポーツ協会）					
参 考 書	-					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 15 回

講義計画

配当学年	バスケットボールコース 1年生	担当教員名	藤本 真和			
科目名	トレーニング論	実務経験				
実務内容						
単位数	2単位	単位				
授業時数	前期 授業計画		後期 授業計画			
1	ガイダンス・トレーニングとは 【I-3-①】					
2	トレーニングの原理・原則 【I-3-②】					
3	トレーニングの3大負荷条件・トレーニング効果 【I-3-②】					
4	筋活動の収縮様式（等尺性筋収縮） 負荷設定について【I-3-③】					
5	筋活動の収縮様式（等張性筋収縮） 負荷設定について【I-3-③】					
6	筋活動の収縮様式（等張性筋収縮） 負荷設定について					
7	各収縮様式のメリット、デメリット					
8	トレーニングの基本動作 （呼吸法・テンポ・グリップ・スタンス etc）					
9	コアエクササイズと補助エクササイズ					
10	コアエクササイズと補助エクササイズ					
11	パワートレーニングの理論					
12	フィットネスプログラムデザインの実際					
13	フィットネスプログラムデザインの実際					
14	トレーニングシステムの実際					
15	試験					
授業概要	トレーニングの基本原理、原則を理解し、パーソナルトレーナーに必要な運動のプログラミングの基礎を学ぶ。その際に必要な運動様式、筋肉の機能（関節の構造を含む）を理解しフォームの違い、重さ、回数、セット数、スピードなどの変数の違いによる効果を学びます。					
成績 評価方法 （○印）	○	学期末試験		小テスト	○	授業態度
	○	出席率		実技		提出物
教科書	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目 I II III（財団法人 日本スポーツ協会）					
参考書	パーソナルトレーナーのための基礎知識「NSCA」					

2020（令和 2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担 当 教 員 名	西 條 喜 博
科 目 名	発育発達論	実務経験	○
実務内容	現場での体操指導の実習		
単 位 数	単 位	2 単位	
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画	後 期 授 業 計 画	
1		発育発達期の身体的特徴 1 【Ⅰ-7-①】	
2		発育発達期の身体的特徴 2 【Ⅰ-7-①】	
3		発育発達期の心理的特徴 【Ⅰ-7-①】	
4		発育発達期に多い病気・けが 1 【Ⅰ-7-②】	
5		発育発達期に多い病気・けが 2 【Ⅰ-7-②】	
6		発育発達期のプログラム 【Ⅰ-7-③】	
7		高齢者とスポーツ 【Ⅱ-5-①】	
8		女性とスポーツ 1 【Ⅱ-5-②】	
9		女性とスポーツ 2 【Ⅱ-5-②】	
10		障害者とスポーツ	
11		スキルの獲得と獲得過程（移動系） 【Ⅲ-8-④】	
12		スキルの獲得と獲得過程（平衡系） 【Ⅲ-8-④】	
13		スキルの獲得と獲得過程（操作系） 【Ⅲ-8-④】	
14		スキルの獲得と獲得過程（調整力） 【Ⅲ-8-④】	
15		試験	
授 業 概 要	<p>1、心身の健康、運動、栄養、生活習慣などの観点からこどもの発育発達を考え、さらに、基礎的な身体特徴についても理解を深める。また、発育発達期に起こりやすいケガやその対処方法も学ぶ。</p> <p>2、生理学の観点から女性や高齢者、障害者の心身の特徴を理解し、スポーツ指導に活かせられるよう学習する。</p>		
成 績 評 価 方 法 (○印)	○	学期末試験	小テスト
	○	出席率	実技
教 科 書	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目ⅠⅡⅢ（財団法人 日本スポーツ協会）		
参 考 書	-		

履正社医療スポーツ専門学校

※全 15 回

2020（令和 2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担 当 教 員 名	三枝 一輝			
科 目 名	Workout I	実務経験				
実務内容						
単 位 数	単 位		2 単位			
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画		後 期 授 業 計 画			
1			オリエンテーション			
2			個々で行うDribble Handring Drill			
3			個々で行うDribble Handring Drill			
4			ペアで行うDribble Handring Drill			
5			Dribble motionからの仕掛け			
6			Stop motion、Jab 多種のステップからの仕掛け			
7			Meet、Dribble～1on1			
8			Meet、Dribble～2on2 pick Off ballの動き			
9			Pick&Roll～状況判断Drill ①			
10			Pick&Roll～状況判断Drill ②			
11			Pick&Roll～状況判断Drill ③			
12			Pick&Roll～状況判断Drill ④			
13			総合Workout ①			
14			総合Workout ②			
15			総合Workout ③			
授 業 概 要	個人個人のバスケットボールスキルを高めること、ゲームシチュエーションでの状況判断をテーマとし、一人一人のレベルアップにつなげる。また、スキルアップと共に、チーム力向上につなげ、実践で使えるような授業展開にしていく。					
成 績 評 価 方 法 (○印)		学期末試験		小テスト	○	出席率
		実技（実習）		提出物（レポート）		授業態度
教 科 書	-					
参 考 書	-					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 15 回

2020（令和 2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担 当 教 員 名	宮崎 拓哉			
科 目 名	CPT概論	実務経験	○			
実務内容	実際に障害が起こることを想定し現場での経験を指導					
単 位 数	4 単位					
授 業 時 数	後 期 授 業 計 画					
1	NSCA・パーソナルトレーナーとは？					
2	身体の基本的な動き（解剖学的平面）					
3	神経系の果たす役割①（感覚神経）					
4	神経系の果たす役割②（運動神経）					
5	トレーニング実技（上半身①）					
6	トレーニング実技（上半身②）					
7	トレーニング実技（上半身③）					
8	トレーニング実技（下半身①）					
9	トレーニング実技（下半身②）					
10	トレーニング実技（下半身③）					
11	トレーニング実技（パワー系種目①）					
12	トレーニング実技（パワー系種目②）					
13	内容の総復習					
14	確認テスト					
15	フィードバック					
授 業 概 要	CPT合格を目指し、教科書に沿った内容でテストに出題されるところをおさえていく。 基本的には、毎回予習課題を出し、教科書を見る癖をつけるようにする。 ビデオ問題に向け、実技も実施することで動きを確認し、対策を行う。 テストの対策だけでなく、現場でも実践できるような技術も勉強する。					
成 績 評 価 方 法 (○印)	○	小テスト	○	提出物	○	期末試験
	○	授業参加度				
教 科 書	NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識					
参 考 書	-					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 30 回

2020（令和2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担 当 教 員 名	三 枝 一 輝			
科 目 名	スカウティング理論	実務経験				
実務内容						
単 位 数	2 単位		2 単位			
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画		後 期 授 業 計 画			
1	オリエンテーション（講義の進め方・評価方法について）					
2	グルーピング編成・スカウティングの必要性					
3	スカウティング理論 I II					
4	大学生のゲーム分析①					
5	大学生のゲーム分析② ゲーム総括発表					
6	データ入力・データ統計					
7	Bリーグのゲーム統計・分析①					
8	Bリーグのゲーム統計・分析②					
9	NCAAのゲーム統計・分析					
10	NCAAのゲーム統計・分析					
11	EUROリーグのゲーム統計・分析					
12	EUROリーグのゲーム統計・分析					
13	EUROリーグのゲーム統計・分析					
14	EUROリーグのゲーム統計・分析					
15	前期試験					
授 業 概 要	バスケットボールデータ集計・分析に必要な基礎的な力、ディスカッション能力の向上をはかり、統計データを見て相手チームの分析を行うことが出来る。講義内で一人一人が自分の役割を理解し、自チーム・相手チームの分析を行う力を身に付け、コミュニケーション力を養う。					
成 績 評 価 方 法 (○印)	○	学期末試験		小テスト	○	授業態度
	○	出席率	○	実技	○	提出物
教 科 書	-					
参 考 書	熱血B.League					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 15 回

2020（令和 2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担 当 教 員 名	浅村 典正			
科 目 名	ジュニア指導法Ⅰ,ジュニア指導法Ⅱ	実務経験	○			
実務内容	コーチでの経験を活かした指導					
単 位 数	2 単位		2 単位			
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画		後 期 授 業 計 画			
1	ジュニア期のスポーツの考え方と指導者の役割		運動あそび・ゲームの実際（乳幼児期） 親子あそび・ゲーム			
2	ジュニア期のスポーツの考え方と指導者の役割		運動あそび・ゲームの実際（乳幼児期） 一人のできるあそび・ゲーム			
3	ジュニアスポーツ指導員の役割		運動あそび・ゲームの実際（乳幼児期） グループでのあそび・ゲーム			
4	子どもの発達とコミュニケーションスキル		運動あそび・ゲームの実際（児童前期） あそびや運動			
5	子どもの発達とコミュニケーションスキル		運動あそび・ゲームの実際（児童前期） 幼少年期に必要とされる動き			
6	子どもの発達とコミュニケーションスキル		運動あそび・ゲームの実際（児童前期） 運動あそびやゲームの実際			
7	動きの発達とスキルの獲得（基本動作の習得）		運動あそび・ゲームの実際（児童後期）			
8	動きの発達とスキルの獲得（基本動作の習得）		指導実習			
9	動きの発達とスキルの獲得（動作の習熟）		指導実習			
10	動きの発達とスキルの獲得（動作の習熟）		運動あそび・ゲームの実際（青年前期） 基本的な運動組み合わせ			
11	動きの発達とスキルの獲得（スポーツスキルの上達）		運動あそび・ゲームの実際（青年前期） スポーツ種目特有のスキル			
12	動きの発達とスキルの獲得（スポーツスキルの上達）		運動あそび・ゲームの実際（青年前期） コーディネーション			
13	動きの発達とスキルの獲得 （より専門性の高いスポーツスキルの獲得）		指導実習			
14	動きの発達とスキルの獲得 （より専門性の高いスポーツスキルの獲得）		指導実習			
15	指導計画書の作成とプレゼンテーション		試験			
授 業 概 要	幼少期～ジュニア期に必要なスポーツスキルを実技中心に各種の動きを学ぶ。					
成 績 評 価 方 法 (○印)	○	学期末試験		小テスト	○	授業態度
	○	出席率		実技		提出物
教 科 書	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目ⅠⅡⅢ（財団法人 日本スポーツ協会）					
参 考 書	-					

履正社医療スポーツ専門学校

※全 15 回

2020（令和2）年度

講 義 計 画

配 当 学 年	バスケットボールコース 1 年生	担 当 教 員 名	古田 高征
科 目 名	介護職員初任者演習	実務経験	
実務内容			
単 位 数	単 位	2 単位	
授 業 時 数	前 期 授 業 計 画	後 期 授 業 計 画	
1		オリエンテーション	
2		介護における尊厳の保持・自立支援	
3		介護の基本	
4		介護福祉サービスの理解と医療の連携	
5		介護福祉サービスの理解と医療の連携	
6		介護におけるコミュニケーション技術	
7		介護におけるコミュニケーション技術	
8		老化の理解	
9		認知症の理解	
10		障害の理解	
11		こころとからだのしくみと生活支援技術 こころとからだの基礎的理解	
12		こころとからだのしくみと生活支援技術 生活支援と住環境整備	
13・14・15		こころとからだのしくみと生活支援技術 こころとからだのしくみと自立に向け	
16		こころとからだのしくみと生活支援技術 ターミナルケア	
17		認定試験	
授 業 概 要	上記カリキュラムに加え、演習2日間、実習1日間を行う。		
成 績 評 価 方 法 (○印)	学期末試験	小テスト	授業態度
	出席率	実技	提出物
教 科 書			
参 考 書			

履正社医療スポーツ専門学校

※全 15 回